

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☎koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

俳壇 山家弘子選

梅雨晴間風に洗濯物なびき
足音にびたりと止みし田の蛙
明日の米蛙の声に合わせ研ぐ
青しぐれ丹塗り回廊釣灯籠

森 恵子
村上八重子
菊地せつ子
佐藤 隆志

市民文芸

歌壇 岩崎聰之介選

山畑をやめて生らせる庭の胡瓜土はいまいちあら我に似て海老背
俺の親父昭和の男シャイなのか偶には言いなされ有難さんって
待ち侘ぶるまでがいいのよ其れ以後は寂しきほどに時早く経つ
梅雨明けはいつのことやらただに暑く雨もよいの空うらめしく眺む
阿部かつみ
とろりんこ溶けて無くなる口のなか築地の鰻ぞ姪のはからい
「だんだんに良くなりますよ」と微笑める医師を信じてリハビリに励む
大庭美智子
美人さんはそのまま歳をとるんだね友の写真をいいねと見つむ
佐藤 啓子
腰までも早瀬に浸かり釣りびとが鮎を釣り上ぐ夏のおとづれ
後藤今朝雄
体力は若き人らに敵はぬが趣味や学びの交はり残雪を纏いし刈田嶺いま蒼く青麻の峰と空とひつつに
鈴木 雅

詠一首目、老いて遠くは無理、にわかつくりの庭の畑と仰る。感動詞あらが明るく、土と生きる作者を思わせる。
二首目、今亡き母へも昔一言あったらなとも記す。平明で無駄なく、リズムもいい。
三首目、一つが終り、普段の老いの日々に戻される。寂しきほどには発見。

柳壇 四竈英夫選

合言葉元気だいてね元気だよ
捨て切れぬ百姓根性百までも
何するもスローモーション年感ず
亡き友の消すに忍びぬSNS
翻る洗濯物の梅雨晴れ間
勝ちそびれ躰く楽天これからだ
一瞬の警戒アラート身の凍る
糸の雨紫陽花俺もうなじ垂れ
天の川今年はきつと会えるかな
古女房しわの笑顔も味なもの
詠一句目、両隣声掛け合って確かめて、今日も元気な一日過ぎる。お互いに声を掛け合うことの大切さ「今日も元気だご飯がうまい」。
二句目、幾つになっても土を耕し作物を育てることとは身について離れない。「大和民族の魂は働くことにあり」と言った人がいたとか。
三句目、分かっていても瞬時に体が動かないもどかしさ。でも体が動けば大丈夫。「まんズまんズゆっくりいぐべエ」とは某歌手の弁。

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物直売所情報▶



直売所紹介「バーバ工愛市」

市内直売所で唯一女性だけで運営しています。バーバ工愛市の「工（ク）」は工夫、「愛（ラブ）」は愛情が由来です。工夫を凝らしながら、愛情たっぷりの新鮮な野菜や惣菜、季節の果物、生花などを販売していますので、ぜひお越しください。

●営業場所・時間

【白石店（認可保育所あそびの森近く）】 毎週水曜日 9:00～12:00
【元JAみやぎ仙南福岡支店構内店】 毎週土曜日 9:00～12:00
※9月17日（木）10:00～14:00 宮城県庁1階ロビーで販売します。

☎農林課 ☎22-1253



▲お客さんとの交流を大切にしています。9月は旬の栗やブドウ、リンゴを販売します。

皆さんからのすてきな情報を持っています！

まちかどズームイン



▲「願いがかないますように」と短冊を飾りました

願いを込めて七夕飾り

武家屋敷（旧小関家）「七夕まつり」

7月31日、武家屋敷で七夕まつりが行われ、第一・第二児童館の子どもたちが七夕飾りに参加。この日は、郷土への愛を深めてもらおうと、白石民話の会による昔話も披露されました。子どもたちは「バスケが上手になりますように」「健康でいられますように」など、それぞれの願いを短冊に書いて飾り、伝統文化に親しみました。



▲豪快に書かれた文字のそばに並ぶ書道部員と消防署職員

救急車の適切な利用を願って

白石高校書道部書道パフォーマンス

7月23日、旧白石高校グラウンドで白石高校書道部の書道パフォーマンスが行われました。これは、救急車の適切な利用の啓発のために、白石消防署からの依頼で実施したものです。部員は「緊張したが満足のいくパフォーマンスができた。これから熱中症の人も増えると思うので、適切な救急車の利用をお願いしたい」と話していました。



▲ドライバーに飲み物を手渡し安全運転を呼びかけました

夏の交通安全を呼びかけ

夏の交通安全キャンペーン「ひと休み運動」

8月3日、情報センター駐車場で、白石地区交通安全協会など約30人が交通安全キャンペーンを実施しました。夏は暑さや帰省などによる長時間・長距離運転の疲れから、事故が起こりやすい季節です。当日は、ドライバーに飲み物や交通安全チラシなどを配布し、「休みながら運転してください」と声をかけ、安全運転を呼びかけました。



▲講師の話に真剣に耳を傾ける生徒たち

相手のことを思う心を学ぶ

デートDV防止講演会

7月24日、交際相手を暴力や束縛で支配しようとする「デートDV」の防止を目的とした講演会が白石工業高校で開催されました。この講演会は、本市と大河原人権啓発活動地域ネットワーク協議会が共催したものです。受講した生徒は「誰でも無意識のうちに加害者になりえることが学べた。相手のことを思い行動できる人になりたい」と話していました。